

令和4年度新居浜市地方創生有識者会議発言要旨

日時：令和4年8月1日（月）15：00～17:10

場所：新居浜市役所3階 33会議室

事務局：「令和3年度総合戦略アクションプランの実施状況について」資料に基づき説明。

座長：総合戦略アクションプランの進捗状況に関する事務局の説明に対し、質問を伺いたい。

委員：目標値の変更がありました。どういった形でその数値を出したのか、その根拠はどういったものだったのか教えていただきたい。というのは目標というものは、それに届かないから目標を下げることは、そもそも目標ではないのではないかとというのが一般的な考えだと思うが、最初に設定したときと前提条件が変わっているから、現状に合わせて変更することはあり得る話だが、そのあたりがどういふもので、こういった変更の数値をもってこられたか教えていただきたい。

事務局：「雇用保険被保険者数」については、元々目標としていたアクションプラン上の数値は、一定の実績を踏まえながらそこから伸ばしていくということで設定していたが、今回目標を達成しており、上位計画である長期総合計画の数値の方が高いため、そちらの水準に合わせる。具体的には長期総合計画では令和元年を現況値にしており、令和3年から令和12年の10年間で1.1倍にするとしている。同基準でいくと令和6年は1.04倍となるため、令和元年度38,440人の1.04倍で39,900人を目指そうということで、目標値を長期総合計画に合わせる形とさせていただいた。

「市内製造品出荷額等」については、近年住友各社が非常に好調ということもあり、製造品出荷額のベースが非常に上がっている。直近の一番高い数値は8,900億円程度の出荷額もあったが、景気の動向に大きく影響を受け、増減するものであるため、当初7,300億円で設定していたが、新居浜市の最低ラインとして、長期総合計画の目標値である7,500億円を維持することができれば、市の経済状況は一定、堅調といえると考え、目標数値を7,500億円で設定させていただいた。

委員：製造品の出荷額の中で、大企業と地元の企業といった区分けはありますか？というのは、住友関係はどうしようもない。こちらでコントロールのしようがないところがあるが、地元の中小企業であれば何か手を打てるということがあるならば、中小企業向けの努力目標があってもよいのではないかと思う。

事務局：製造品出荷額等につきましては、工業統計を基に算出しており、大企業と中小企業の仕分けがなされていない。食品製造業、化学工業など業で整理がされている。

新居浜市の産業は、非鉄金属、化学工業、プラスチック製品が突出しており、大手企業の稼働率によって大きく変わってくるが、市としても大企業と中小企業の別を精査できない状況である。

座長：それ以外の数値目標の変更についてはどうなっている？

事務局：「地域子育て支援拠点施設延べ利用者数」について、子育て支援施設は6か月から3歳未満の保育園に行っていない親子を対象としており、出生数の低下及び女性の社会進出等により対象者が減少していく。また、今年度より2つの拠点施設の開所日数を週6日から5日への変更に伴い下方修正させていただいた。しかし、子育て層の孤立を防ぐためにも、未利用者に対する拠点施設の事業PRと利用ニーズ掘り起こしは、これまで以上に必要であることから、目標値は基準値をやや上回るものとし、56,000人としている。

事務局：「小・中学校学習者用端末の整備率」について、当初は5か年計画で整備予定であったが、新型コロナウイルス感染症による臨時休校対応等のため国の予算が前倒しされ、令和2年度内に1人1台の端末を整備し目標に達したため、今回新しく目標を設定させていただいた。

「学校情報化優良校の認定」については、日本教育工学協会が認定しており、令和3年度には全28校中7校認定されているため、基準値は25%とし、令和6年度までに全28校、100%を目標としている。

委員：目標数値について「雇用保険被保険者数」はすでに達成し上方修正している。一方KPIを見ると目標値を全部大幅に下回っている結果となっている。この結果を受けてKPIの設定はあっているのか疑問である。「学校情報化優良校の認定」について、「小・中学校学習者用端末の整備率」が100%となったから変更するというのは、数値目標とKPIは本当にリンクしているのか検証することも必要ではないか。

事務局：新たなKPIが合っているかについて、小・中学校学習者用端末の整備は完了した状況でありますことから、次はこれを如何に有効に活用していくかということにシフトし、「学校情報化優良校の認定」としている。

座長：KPIが達成できていないから数値目標が達成できていないのは当たり前である。しかし、「雇用保険被保険者数」については、KPIはいずれも達成できていないが、目標は達成している。機能していないのではないか。単なる自然増ではないか。

事務局：「雇用保険被保険者数」を目標としたのは、従業者数を一定数現状よりも増やしていく方向性で、わかりやすくしたいという思惑があり設定した。それを構成しているなかで、現の従業者、中途採用、新規採用、退職、退職後継続しておられる方、様々な社会的要因が加味されているため、なぜ高い数値となったかはハローワークとも協議し、検討したが明確な原因がわからない。委員さんのご指摘の

とおりK P Iが適切かどうか含めて、目標数値とK P Iの設定については、検証していきたいと思う。

座 長：ありがとうございました。それでは事務局から説明のあった数値目標及びKPIの変更、アクションプランの変更及び追加に関して承認でよろしいか。
→了承をいただいた。

様々な課題、ご指摘等いただきました。今後より良い方向に向けて精査をし、精度の高いものにしていただけたらと思う。

事務局：「令和2・3年度地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証について」資料に基づき説明。

座 長：令和2・3年度地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証に関する事務局の説明に対し、質問を伺いたい。

委 員：令和2年度 No 33「テレワーク・オンライン会議推進事業」について、テレワーク端末40台、Web会議用タブレット125台導入されているが、実際にテレワークをしている人はどのくらいいるのか。

事務局：人事課からは試験的に職員には必ず1人1回はする旨の通達がでており、部局に2台配布され運用している。何人しているかは把握していないが、現在は主に感染拡大による濃厚接触者となり、自宅待機となった職員等がテレワークにて活用している。

委 員：市内のリモート活用率はどのくらいいるのか。

事務局：活用率は把握していないが、国もテレワークを推進しており、新居浜市も令和2年度 No 16「テレワーク推進事業」という形で支援をしている。中小企業の大半は、国・市いずれかの支援を活用している印象がある。テレワークを必要とする企業は積極的に推進し支援した。また、テレワークだけでなく、出張や会議等Webでの活用も多い。

座 長：在宅勤務がある程度できるようになれば、プライベートの生活とうまくしていけば、よりワークライフバランスが上がってくる。若い世代は子育てもしやすくなり、市内企業へ就職希望者も増えてくるという効果もあるかと思う。

委 員：令和2年度 No 50「観光施設周遊促進事業」について、稼働後1年間で約2,000件のユーザー利用が確認できたとあるが、2,000件というのは、事業結果として良い結果であったのか。

事務局：本来であれば事業毎に目標値を設定して、目標値達成の可否について評価するべきところであるが、令和2年度当時は国の補助要件にも目標値設定は必要とされてなく、交付金制度がスタートしている。令和4年度からは目標設定をした上で効果検証をするよう改訂されているが、令和2・3年度の事業においては目標

値はない。「観光施設周遊促進事業」につきましては、事業内容としては、市内にある9つの観光施設を巡ってそれぞれ紙ベースでスタンプを押してもらい、3つ集まったら市内のお土産品に申し込むことができるという、周遊をしてもらうための取組を従前から取り組んでいた。それを紙ベースではなく、Webアプリを使って参加ができるように変更した。従前紙ベースでは年間数百枚程度しか利用されていなかったところが、アクセスが2,000件の利用が確認できたので、目標値を定めていたわけではないが、効果があったと思っている。

委員：令和3年度 No9「県・市連携えひめ版事業者応援事業」、No10「営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金」について、私どものお客さんに対象者が多く、他にもNo3「事業再構築促進支援事業」、令和2年度 No3「緊急小口融資制度利子補給事業」など非常に助かったというお客様、従業員からの声が多数届いている。新居浜市に対応いただいたこと感謝を申し上げたい。

委員：色々と考えて対策を打っていただいている。今となってはもっと効果的な方法があったと思っている事業もあろうかと思いますが、当時はこれがベストだと思って色々な対策をされたと思うので、十分これでよいのではないかと思う。

座長：よくぞこれだけアイデアを出し、各部局で知恵を絞られたものと思う。非常に幅広い方が対象となっているので、これによって助けられた企業、中小企業も多いと思う。効果というのは、この時だけではなく、これからさらに出てくるのではないかと思う。これらの取組の成果がまた今後に繋がっていくのではないかと期待できるような実施内容であると認識している。

座長：それでは事務局から説明のあった令和2・3年度地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証について、委員の皆様の意見としましては、「国が示す目的に合致し、各事業の効果について妥当である。」ということによろしいでしょうか。→了承をいただいた。

事務局は、先ほどの委員の皆さまから頂いた意見について、外部委員の意見として整理していただくようお願いする。

事務局：「その他 新居浜市過疎地域持続的発展計画について」資料に基づき説明。

座長：新居浜市過疎地域持続的発展計画につきまして、令和3年度実績を見ますと順調にスタートが切れていると認識できる。

今回移住者9名と多くの方が移住していただいているが、今後の見通しはどのように考えているか。

事務局：今後は、地域おこし協力隊と地域産業での雇用による移住を推進し、毎年2名づつは厳しい数字ではあるが、地道に施策を展開し目標達成に向けて取り組んでいきたいと思っている。

座 長：9名2世帯について、どういうところに魅力を感じて移住されたのか。今後の移住の訴求ポイントになるかもしれない。

事務局：2世帯のうち1世帯は地域おこし協力隊で、東京に在住の方から子どもを育てる環境は自然の中で育てたいという思いを持たれており、別子を見てぜひここで育てたいということで、移住して古民家を改修している。もう1世帯は少人数での学校で子どもを育てたいという思いを持たれており、移住してきた。両親はそこから仕事に通うと聞いている。両方ともに子どもメインで移住を考えている。

座 長：子育てに魅力を感じられるような環境が、別子山にはあるということか。

事務局：今回の9名に関してはそうなる。

座 長：今後はそのあたりをアピールすることで、移住者の掘り起こしに繋がられる。

委員：起業される方から相談が結構ある。今治など住みたい田舎ランキングでシニアでは1位であるとか、西条の方が若者で1位であるとか、それぞれポスターを貼ってたりもする。新居浜市はそういったものがないが、9人も移住があるのはすごいと思っている。

委員：地域おこし協力隊は3年後に定住するということになるが、如何に減ってしまうのを止めるかが現実的な話だと思う。うまくいっているところは移住者同士のサービス、移住者がリーダーとなって移住者の方のコミュニティを作っている。何かひとつコアワーキングスペース的なものがあればより定住化に進むのではないかと思う。

座 長：今回移住者が9名来ていただいているということは、別子山発展の可能性も十分あるのではないかないうふうにも感じている。先ほどの話でいうと子育て環境が良いということですが、グローバルジュニアハイスクールも魅力になっているのでしょうか

事務局：過疎地域持続的発展計画搭載事業の「別子山まなび創生事業」になりますが、今回の移住者については、要因の一つであると思っている。

委員：ゆらぎの森で何度か婚活パーティーを実施しており、そこで出会ったカップルが結婚したため、結婚式は中止となったが、結婚式の代わりにブライダルフォトを撮るため、わざわざゆらぎに来てくれた。

隠れたオタクの聖地があり、鬼滅の刃とかの仮装をして施設内で写真を撮ったりしている。これを観光に繋げれないか考えている。

我々も同じだが、定住するときは働く場所がある。ゆらぎで働いてもらってもよいが、働けるということがすごく重要になる。

働くということは死ぬまでの安定を求めて働くので、働けるという保証があれば、別子で少し好きなことができて、いいのではないかということ。

西条ではオタクのゲーマーが集まって合宿とかがあったが、プログラマーとかITとか行政としての大きなバックアップで人を集めて、そういったものが

あればあるほど人が来て魅力ということに関しては体験しやすいのではないかと
とは思った。

座 長：ありがとうございます。来ていただきたい方のイメージを明確に絞り込むことが
非常に大事であると思う。それぞれ皆さん求められているものが違うので、求め
られているものに対してより良い価値を提供する自治体はたくさんある。です
から、ターゲットを絞って、ターゲットの人たちが全国でここが一番自分が求め
ている価値を提供してくれているという、そういう風な思いになれるように市
として別子山村にお金・人を特化していく、そういうふうな絞っていくマーケテ
ィングの戦略というのがとても重要なかなあとと思う。その上でそういう人た
ちに届くようにPRをしっかりとしていく。それはオタクかもしれないし、自然
の中で子育てしたいという若い世代かもしれないし、絞れば絞るほど明確にし
やすくなるので、そういった方達の何を求めるかというところを精査して、市と
してより強化していくというふうな方向性で進めていかれるのが、マーケティ
ィング的には確実に数を増やしていく、何十人、何百人と増やすわけではないので、
可能性としてはより高い角度で、目標数値がクリアできるようなものではないか
というふうに私自身は思う。

座 長：それでは、先ほど事務局から提案のありました、新居浜市過疎地域持続的発展計
画における達成状況について、委員の皆様のご意見としましては実績報告のと
おり評価するというところでよろしいでしょうか。

→了承をいただいた。

事務局は、先ほどの委員の皆さまから頂いた意見について、外部委員の意見と
して整理するようお願いする。

以上。